

1. 海外派遣の状況（今年度の累計）

	短期		インターンシップ	
	前回時点	今回時点	前回時点	今回時点
派遣済み（帰国済み）	16名	26名	1名	2名
派遣中	2名	1名	1名	0名
派遣予定（許可済み）	12名	6名	2名	2名

2. EU海外研修

期間：2016年11月22日～11月29日

参加者：学生 14名 (IST 6, FBS 4, ES 4)、教員 4名

訪問先：パナソニック（ランゲン）

NEC（ハイデルベルグ）

アーヘン工科大（アーヘン）

MRC分子生物学研究所（ケンブリッジ）

EU渡航に関するコメント

平成28年度海外渡航結果報告

教員からのコメント	学生からのコメント一部。。。
<ul style="list-style-type: none">❖ 学生が国際化の意味を能動的に体験する機会でした。<ul style="list-style-type: none">- 世界トップレベルの研究者達に自分の研究内容発表- ソシアル-イベントで色々な国からの学生達とは交流	<ul style="list-style-type: none">• 世界（EUだけだけども）の研究レベルを知ること、今の自分に足りないこと、優れているところがはっきりし、研究者として生きていける自信がつき、研究を積極的に行うモチベーションとなった。(中西1期生)• It was a good experience for me to recognize my lack of English speaking ability by talking and discussing with students in RWTH Aachen University and Cambridge University (三田4期生)• HWIP students have to take English class (especially, speaking class) as a compulsory subject (optional now) (坂本4期生)
<ul style="list-style-type: none">❖ 学生が海外インタ及びpostdocの情報取得する機会でした。<ul style="list-style-type: none">- 企業・大学・研究機構から海外キャリアに関する情報- 海外を選択する履修生が現れることを期待する。	<ul style="list-style-type: none">• 海外の文化や企業・大学の実態を知ることができ、卒業後のキャリアパス、今後のインターンシップにおいて、海外を選択する可能性が大きく高まった(村上3期生)• After the tour to EU, I would consider finding an internship outside Japan (Zheng3期生)• This opportunity will lead me to an overseas internship (坂本4期生)